

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0190500389		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイのほほえみもみじ台		
所在地	北海道札幌市厚別区もみじ台北6丁目1番8号 (電話) 011-809-7811		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月4日	評価確定日	平成22年3月26日

【情報提供票より】(平成22年2月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)21年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	17人, 非常勤 人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(136,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	1ヶ月	円		

(4) 利用者の概要(2月18日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	6 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 86 歳	最低	75 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	月寒東内科クリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この一年間を「思いづくり」の年として一人ひとりが「行ってみたい、やってみたい」希望を叶え、小樽観光等戸外に出かけたり、茶器等を用意して本格的な茶道の実施やオペラコンサートに出かける等管理者、職員が本人本位に検討し、取り組んでいる2ユニットのグループホームです。また、事故防止の為にヒヤリ・ハットで転倒防止に取り組み「事例研究」発表で成果を公表し、事故防止の原因究明と再発防止策に努めケアサービスの質の向上に活かされています。地域的に企業の寮や団地が多く、地域のつきあいの難しい面もあるが大正琴等地域ボランティアの受け入れや小学校との交流を呼びかける等地元の人々との交流に努めています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 事業所登録が新規となる為、今回が初めての外部評価の実施です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者・職員は、評価を実施する意義をよく理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、職員間で話し合われていると共に運営推進会議にも報告されて意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回を目安に実施され主な議題は 「思い出づくり」の一年について 地域ボランティアの受け入れについて 医療連携体制について 年間行事予定と実施報告について 家族会との意見交換について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が意見や苦情等言い表せるように玄関入り口に「意見箱」を設置していると共にコンプライアンス遵守や苦情等の法人受付窓口を明示しています。また、家族会との意見交換やホームの取り組み状況についての報告等が定期的に行われ、意見や要望、不安への対応等話し合わせ、運営に反映されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域的に企業や団地が集積していて、交流が難しい面もあるが近隣小学校との交流に努めたり、大正琴や園芸など地域ボランティアの受け入れなど地元の人々との交流に努めています。また、消防訓練では家族の参加や地域の人々への参加の呼びかけも行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、法人の運営理念のもとに、グループホーム独自の理念をつくり職員間で共有している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム会議やユニット会議を通じて、理念の実践に向けた話し合いが行われている。		特筆すべき点として、「ほほえみもみじ台通信」を発行して、認知症についての基礎知識を分かりやすく連載して地域の人達に広報するなど実践している。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣小学校との交流に努めたり、大正琴や園芸など地域ボランティアの受け入れなど地元の人々との交流に努めている。また、「ほほえみもみじ台通信」を発行して、認知症についての基礎知識を分かりやすく連載して地域の人達に広報するなど実践されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は、評価を実施する意義をよく理解し、自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気づきや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、職員間で話し合われていると共に運営推進会議にも報告されて意見交換されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、年6回を目安に実施されている。委員は、家族、包括支援センター職員、オーナー、薬剤師、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市担当者との連携の重要性については十分理解し、日常業務を通じた連携やホーム行事の案内等行われている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は、領収書を添えて毎月報告されている。また、家族会で行事やホームの取り組み等報告や意見交換が行われている。「ほほえみもみじ台通信」の発行では、日常の暮らしぶりや健康状態、運営推進会議の内容等掲載されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が意見や苦情等言い表せるように玄関入り口に「意見箱」を設置していると共にコンプライアンス遵守や苦情等の法人受付窓口を明示している。また、家族会との意見交換や取り組み状況の報告等が定期的に行われ、運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑えるよう努めている。また、職員との面談で働きやすい環境整備に努めている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資格取得等奨励し、法人のキャリアアップ制度の活用や事例研究発表など内部研修が行われている。		今後はさらに、成年後見人制度や権利擁護に関する制度を「出前講座」等の活用で、研修等を進めていかれることを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に行われる地域連絡会、法人内の他施設との意見交換や情報交換が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人、家族の見学などで職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀れを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、職員間で共有するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に取り組み「安心・安全・安楽」に過ごせるように本人本位に検討している。		特筆すべき点として、この一年間を「思いでづくり」の年として一人ひとりが「行ってみたい、やってみたい」希望を叶え、小樽観光等戸外に出かけたり、茶器等を用意して本格的な茶道の実施やオペラコンサートに出かける等本人本位に検討している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画が作成されている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、カンファレンスを随時実施し、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	この一年間を「思いでづくり」の年として一人ひとりが「行ってみたい、やってみたい」希望を叶えるよう努めている。また、本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買物など柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族等の希望を大切に、月2回の往診で気軽に相談できるかかりつけ医との関係を築きながら、適切な医療が受けられるよう支援されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認され、繰り返し話し合い、方針が職員間で共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>コンプライアンス遵守について職員の共通認識を持つ取り組みを行い、体制が明示されている。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、希望やタイミングに応じて散歩や買物、レクリエーション参加やおやつ作り、趣味への支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付け等している。また、家族との食事会の実施や食事献立委員会で献立が話し合われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくりと入浴が楽しめるように工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴が把握され、カラオケや編み物、調理や後片付け、食器洗い等役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物、イチゴ狩りやぶどう狩りなど戸外に出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、センサーが設置され安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけが行われ、火災避難訓練や救急救命訓練が定期的実施されている。また、災害時の食料の備蓄や防災セットも配備されている。</p>		<p>特筆すべき点として、事故防止の為にヒヤリ・ハットで転倒防止に取り組み「事例研究」発表で成果を公表し、事故防止の原因究明と再発防止策に努めケアサービスの質の向上に活かされている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な食事・水分の摂取量が記録され、一人ひとりに応じた支援が行われている。また、栄養バランスやカロリーは、栄養士による指導・助言が行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。共用空間は、明るく清潔感が漂い、リビングには、和室のコーナーでお茶会が行われたり、観葉植物が飾られ季節感や生活感を採り入れ職員との談笑やテレビを見る等居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、本人や家族と相談しながら、家族の写真や観葉植物が飾られたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。